

別紙2 (様式第5号関係)

事業の実績

団体名	特定非営利活動法人 ふうしすてむ		
事業名	えひめ I T 共同受注センター事業		
事業の種類 <small>(どれか → つに○を つけてく ださい。)</small>	<ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者に対する福祉サービスや支援活動に関する事業 2 障害者に対する福祉サービスや支援活動に関する事業 3 子育て支援に関する事業 4 地域福祉活動に関する事業 5 その他社会福祉の向上に関する事業 		
事業実施日時	事業実施場所	事業従事者の人数	受益対象者の範囲 及び人数
25年6月1日 ～ 25年9月9日	打合せ場所/県内 作業/松山事務所 研修/松山市内	2名 3名 5名	参加団体/ 1 1 件 事業の受益者/多数
<p>1 実施事業の内容及び結果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 印刷・ICT共同受注窓口設立を図るため県内の該当支援事業所を訪問。 11件の参加があった。 2. 設立準備会を開催。 3. チラシの作成・ホームページやメーリングリスト等を作成した。 4. 「障害者の働く場に対する発注促進税制」の有効活用の為の勉強会を開催しました。 参加者 16名 5. 8月20日に「えひめICTチャレンジド事業組合」設立総会を開催した。 			
<p>2 事業を実施したことにより団体が得た成果</p> <p>えひめICTチャレンジド事業組合の設立が出来ました。 これからの活動として各団体が協力出来るシステムを構築し成果を上げたい。 障害者優先調達法や発注促進税制税などの施策により受注の拡大が期待出来る。 参加団体の協力により一括受注や分業の成果が上がる可能性がある。</p>			
<p>3 事業を実施したことにより県下に波及される効果</p> <p>今回の助成事業の目的は「えひめICTチャレンジド事業組合」の設立ですが、 事業組合の設立目的は事業を拡大することによる障害者の仕事の量と質の確保や ICTを使う事による過疎地や外出困難者の仕事の確保です。 現在のタイトな納期や低価格な仕事から脱却する一つの方法と考えています。</p>			
<p>4 事業結果を踏まえた来年度以降の当該事業の予定</p> <p>「えひめICTチャレンジド事業組合」の事業展開と参加事業所の研修などによる レベルアップ</p>			

別紙3 (様式第5号関係)

収 支 決 算 書

1 収入の部

区 分	決 算 額 (円)	摘 要
県補助金	300,000	
自己資金	21,240	
合 計	321,240	

2 支出の部

区 分	決 算 額 (円)	摘 要
[補助対象経費]		
報償費 セミナー講師謝金	20,000	
需用費 印刷代		
セミナーチラシ/発注促進税制	6,000	@¥30*200枚
事業組合設立総会案内チラシ	6,000	@¥30*200枚
営業用パンフレット	100,000	2000部
プリンタインク代	12,300	
封筒	594	
封筒・用紙 1,696	1,696	
役務費		
送料 促進税制セミナー案内	8,560	メール便107通
チラシパンフの発送	1,120	メール便14通
チラシパンフの発送	720	メール便9通
チラシパンフの発送	8,640	メール便108通
ホームページの構築と保守	120,000	
使用料		
ドメイン・サーバー使用料	30,000	
会議室借上げ	3,300	
会議室借上げ	2,310	
小 計	321,240	
[補助対象外経費]	0	
小 計	0	
合 計	321,240	

25年度 三浦保愛基金助成事業

6月27日 開催の発注促進税制勉強会

勉強会の案内を県内のA型とB型事業所の100件あまりに送りました。参加は13名



8月20日 えひめICTチャレンジド事業組合設立総会

事業組合への参加 11事業所

ぶうしすてむ フェローシステム こころ塾 まるく アイリアル サスケ工房
クラフトマン iプロジェクト ワークいかた どんまい

研修会講演 「障害者優先調達推進法」の

説明と共同受注窓口の必要性や現在の状況について 県障害福祉課障害支援係 木原さん
グループワーク 参加者

自治体職員 13市町村 24名

就業生活支援センター 3カ所 3名

事業所 35カ所 57名



パンフレットの作成とホームページの構築と掲載

